

あいの地区樹林維持管理計画に関する 取り組みのご報告

あいの里地区の樹林は、樹木の過密化、枯損木や危険木の増加、宅地への枝の越境等、様々な問題が生じてきています。

札幌市では、将来に向けた樹林のあり方について、地域の皆さんとの協働により、平成29年度に「あいの里地区樹林維持管理計画」を策定しました。

今年度は、本計画に基づき「鉄道林の補植」や「樹林見学ミニツアー」などの取り組みを行いました。また、秋頃より5箇所の樹林において、試験的に間伐等の作業を行う予定です。

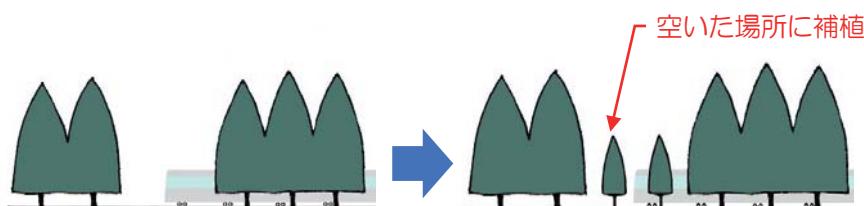


「ぱっぴい」

鉄道林への補植

JR学園都市線沿いに植えられた「鉄道林」は、防風や住宅地への防音を目的に植えられましたが、場所によって歯抜け状の樹林帯になっていました。

そこで、今年の4月、樹木の補植が必要な場所について、**札幌市北区土木部とあいの里の樹木検討委員会**(※)とで現地の状況を確認し、補植を行いました。



※ あいの里の樹木検討委員会とは「拓北・あいの里連合町内会まちづくり委員会・拡大あいの里部会」の中に位置づけられており、町内会長や商工振興会、樹木に詳しい地域にお住いの方などを中心に設立された委員会です。



北区土木部とあいの里の樹木検討委員会とで現地の確認（撮影：平成30年4月25日）



歯抜けになった鉄道林に、高さ3～4mの針葉樹を補植（撮影：平成30年7月9日）

あいの里地区 トピックス

「あいの里北公園」で ボランティア作業が行われました！

昨年度のあいの里西公園に引き続き、7月9日（月）に、あいの里の樹木検討委員会が中心となって、「あいの里北公園」の樹木の下枝払いと、古くなったベンチのペンキ塗りが行われました。

当日は約60名が4時間かけて作業し、明るく見通しの良い公園になりました。



約60名が参加したあいの里北公園のボランティア作業



下枝を払って見通しの改善



古くなったベンチのペンキ塗り

「樹林見学ミニツアー」の開催

9月1日（土）、あいの里地区にお住いの26名にご参加いただき、あいの里地区樹林維持管理計画に基いて、試験的に間伐を行う樹林を巡る「樹林見学ミニツアー」を開催しました。

見学した樹林には、事前に伐採候補の樹木に目印をつけ、どの程度の樹木の間隔になるのかや、樹木の高さをどの程度にするのかについて、樹木医さんの解説も含めて説明をしました。

参加者の方からは、「間伐する樹木の選び方はどうやって決めたの?」、「剪定をする時は樹木が健全に育つように配慮してほしい」など、たくさんのご質問やご意見をいただきました。

位置図



樹林見学ミニツアーの様子

【凡例】

- 深刻な樹林（緊急度：大）
- やや深刻な樹林（緊急度：中）
- 問題の少ない樹林（緊急度：小）
- 見学したモデル樹林の位置

「あいの里地区樹林維持管理計画」に基づき 試験的な間伐作業を実施します

札幌市では、「樹林見学ミニツアー」でご説明した5箇所の樹林において、10月下旬頃より試験的に間伐（伐採）を行います。

間伐する樹木には、ピンク色のテープを付けます。

お気付きのことがございましたら、下記問合せ先までご連絡下さい。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



問合せ先：札幌市北区土木部維持管理課

TEL : 011-771-4211 (担当：公園緑化係 土田、長倉)

SAPP_RO